

農事組合法人
 本井木生産組合

所在地 越小場 847-1

創業 平成9年7月

組合員数 14人

事業内容

- 水稻の生産・作業受託
- 農産物の加工・販売



本井木生産組合のみなさん

当組合は越小場地区住民の組合員で構成する農業法人で、水稻の生産や作業受託の他、農産物の加工・販売を行う事業所です。平成8年のほ場整備の完了に伴い、農業機械の売り込みが激化。機械の過剰投資を防ぐため、共同利用ができないう集落で話し合い、水稻の共同生産組織として7組の夫婦で活動を開始しました。平成19年には芦北地域初の農事組合法人となり、地域営農の先駆的なモデルとして国内外から視察を受け入れ、テレビでも報道されました。

当組合からも納品するJ・Aブランド「大関米」はおいしいと評判です。きれいな水と、標高300mの昼夜の寒暖差が激しい土地で育つ米は甘味が強く、減農薬で、体にも環境にも優しい自慢の米です。

これまで市内全域から田植え、稲刈り、米の乾燥など水稻作業にかかる全般の業務を受託し、営農や農地の維持保全に大きく貢献してきました。女性たちが作る組合員の自家野菜を使った惣菜や弁当も好評です。機械操作が得意な人、力自慢の人、手先が起



▲令和3年4月18日には、功労者表彰受賞の報告に市長を訪問。

用な人、それぞれが自分の個性を生かし、適材適所で働いています。令和3年度には、これまでの功績が評価され、県から農林水産業功労者として表彰を受けました。

今後は組合員の高齢化により、水稻作業の受託を越小場地区に限定する予定ですが、若い移住者の提案で、直売所「ふれあいショップ本井木」を改修し、飲み物などを提供する、人が集う場所にしたいと考えています。このような若者のアイデアも取り入れながら、健康第一に活動を続けていきたいと思えます。



今年も美味しいお米ができました

私たちは、水俣の山間部で地域の農業と暮らしを守る活動をしています。田植えや稲刈りの受託、お米の乾燥や保存を行うライスセンターの運営や地元の農産物の販売、それらを使った商品づくりを通して、地域の元気を生み出しています。

過疎化が進む中でも、この土地の豊かな恵みを次世代につなぐため農業を通じた地域づくりに挑戦し続けています。皆さんが食べている地元のおいしいものには、私たちの情熱が詰まっています！